

はじめに

目黒区には、現在、106カ国、8,103人の外国人の方々が暮らしています。区の人口の約3%を占め、近年その数は急激に増加しています。また、3年後の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、さらに増加することが予想されます。

そこで、地域で共に暮らす外国人住民との交流を深めながら、相互理解に向けた情報共有や交流活動を図っていくことに加え、身近で出会う機会の増える外国人観光客への対応が、これまで以上に求められますことから、本区では多文化共生施策の推進に関するビジョンを策定いたしました。

今後は、これまでの相互理解による開かれた共生社会づくりの視点をさらに発展させ「外国人住民と共に生きるまち目黒」を目指してまいります。

ビジョン策定にあたりましては、公益財団法人目黒区国際交流協会（MIFA）に設置された「多文化共生区民フォーラム」から提言をいただきました。さらに、日頃から外国人支援活動をされている支援団体の皆様並びに貴重なご意見をお寄せいただいた区民の皆様に、改めて感謝を申し上げます。

平成29年（2017年）3月

目黒区長
青木英二